

このコーナーでは、ボランティアをしている人を応援し、ボランティアの「はじめの一歩」のきっかけになるような記事、またボランティアセンター開設に関する情報を掲載していきます。

わかくすのなかまと一緒に！

「福祉工房 わかくす」には多くの方がいろいろな形で関わられています。そのなかで定期的に通り、ごく自然にボランティア活動をされてる方数人にお話を伺いました。



福祉工房わかくすのボランティアの皆さん

<箱折・わかくすグッズづくり>

ボランティアをしている意識はないですね。もう生活の一部になっていて趣味のようなものかしら。(吉村さん)

福祉講座がきっかけ。自分のためと思っているから、大変だなんて思ったことがないね。達成感があるから続いているのかも。(横田さん)

利用者との関わりも楽しく、夏休みは毎日来ています。(福祉の専門学校生)

<外回りの草取り・畑作り>

畑でこんな作物を作ると喜んでくれるかな？と計画を立てながらやっていると楽しい。友人もできるしね。(大江さん)

定年後、ここに来ることで生活のリズムができています。社会との接点かな。

(日下部さん)



ポランコ屋がわ



<移動介助>

自分も70代だし、作業は出来ないけど外出のとき付き添っている。自分にできることを無理なくね。(野崎さん)

福祉工房 わかくすとは
宇美町在住の障がい児(者)の働く場をつくらうと、保護者、教職員、町民有志でつくる「宇美町障害児(者)とともに歩む会」を中心に、10年の歳月をかけて作業所を開所。現在は、NPO法人(特定非営利活動法人)として活動している。

わかくすには、こんなボランティアがあります。
好きな時間に来て、好きな時間だけ参加してください。
お手伝いをお願いします。

- 空缶を提供するボランティア
- 作業を一緒に行うボランティア
- 食べるボランティア(わかくす喫茶)
- NPOの会員になるボランティア

問い合わせ: 福祉工房わかくす(中村・岩塚)
TEL 932-8510



遊びに来ませんか? 11月8日(日) わかくす秋祭り 場所: 住民福祉センター

●ボランティアセンター開設準備委員会(仮称) 経過報告
第3回 H21.8.20 ・センターの正式名称や利用の仕方について
第4回 H21.9.4 ・センターの設置場所・条例等について
今回は、センターの当面の事業等の検討を行う予定です。

編集後記
皆さんとても自然体で、無理なく楽しんでボランティア活動をされていました。
「させてもらってる」という言葉に頭が下がります。